鈴木財務大臣・金融担当大臣

FIN/SUM 2022　開会挨拶

2022 年３月 30 日【ビデオ出演】

金融担当大臣の鈴木俊一でございます。

本日はフィンサム（FIN/SUM）2022 にご参加頂きまして、誠に有難うございます。金融庁シンポジウムの開催に当たり、主催者としてご挨拶申し上げます。

社会全体のデジタル化が加速する中、ブロックチェーンやＡＩといった革新的技術を活用した、多様な金融商品・サービスの提供が進みつつあります。従来の金融機関のみならず、スタートアップ企業や、非金融事業を営まれていた事業者など、様々なプレイヤーの方々が金融分野におけるイノベーションにチャレンジしていく動きを、大いに歓迎しております。

なぜなら、こうした新たな金融サービスが、少子高齢化、気候変動、地方創生、中小企業の成長支援といった、我が国および国際社会が抱える社会課題の解決や、経済の持続的成長に貢献する可能性を有しているからです。

フィンテックによる社会課題解決への貢献の事例として、例えば欧州や米国では、主に若い世代をターゲットとして、商品製造時に排出した二酸化炭素を推定し、アプリ上で表示・比較するような機能を提供するサービスが拡大しています。持続可能な社会の構築に向けて重要なことは、一人一人が責任ある行動をとることです。テクノロジーの活用を通じて、人々の行動変容を

促すような金融サービスが発展・普及することは、大変望ましいことだと思います。

　また、プラットフォーマーにより金融サービスが提供され、デジタル資産やキャッシュレス決済手段が普及するなど、デジタル化に対応した新たな金融サービスが拡大する中で、金融庁としても、新たな成長のエンジンを金融面からサポートするためのイノベーション支援を行っていくことが不可欠です。
　それと同時に、利用者保護や金融システムの安定、金融犯罪の抑止といった環境整備も適切に行っていく必要があります。「規制はイノベーションの障害だ」と考える方もいらっしゃるかもしれませんが、国民が安心して利用できないサービスに持続可能性や発展は望めないと思います。規制当局者やビジネス関係者、エンジニアなどの間で、考え方に違いがあるかもしれませんが、関係者間でよく対話し、協調関係を築くことで、適切な規制環境のもとイノベーションを後押しし、未来に向けて価値を創造していくことができると信じています。

　更に、日本がビジネスを行う場としての魅力を向上させるために、国際金融センターを目指して人材・企業・資金を呼び込んでいくことも重要です。金融庁ではこれまで、関係省庁と連携し、行政の英語対応、規制・税制に係る措置、ビジネス環境や生活面の課題の改善などの様々な取組みを進めてまいりました。今後、さらに海外の資産運用業者等の誘致に努めていくほか、世界・アジアにおける持続可能な社会の構築に向けた投融資の活性化に貢献すべく、「グリーン国際金融センター」を含めたサステナブルファイナンス推進のための環境整備を強力に推進して

まいります。

いずれの論点にも共通するのは、社会課題解決と経済の持続的成長に向けて、金融当局も含めた金融のエコシステムが更に拡大・成長していく必要があるということです。そこで、本シンポジウムのテーマを「スケーリング・ファイナンス・フォー・サステナブル・グロース」(Scaling Finance for Sustainable Growth) としました。本日ご参加・ご視聴頂いている皆様には、ぜひともその担い手になって頂きたいと考えています。

最後になりますが、ご登壇者の皆様には御礼を申し上げるとともに、共催者として、本カンファレンスの開催にご尽力いただいた日本経済新聞社にも感謝を申し上げます。本日の議論が実り多きものとなり、皆様のビジネスにおけるイノベーションの実現に貢献するものとなることを祈念しております。ご清聴ありがとうございました。

（以　上）